

# 台風 11 号の接近に伴う被害防止対策について

気象災害対策H26-2  
平成26年8月6日  
農林総合研究センター

## I 被害防止対策 詳しい台風情報、解説は最終ページ

強い台風第11号は、6日15時には、南大東島の南約300キロを1時間におよそ15キロの速さで北北東へ進んでいます。

今後、10日（日）には九州に接近し、石川県には11日（月）に最接近する進路予報となっています。

今後の台風情報に十分注意し、万全の対策を講じて下さい。

### (要旨)

- (1) 出穂期～登熟初中期の水稻は、強風やフェーンの影響を受けやすい時期となるので、台風が接近する前にほ場へ入水し、白穂の発生や稲体の消耗を防止する。
- (2) パイプハウス等、園芸施設の破損箇所を速やかに補修するとともに、ハウスバンドを締め直してビニールのバタつきを防ぐなど施設の点検・整備を実施する。
- (3) 砂丘地の露地野菜では、強風が吹く前からスプリンクラー散水を行い、飛砂による作物の損傷を防止する。
- (4) 収穫期に入っている園芸作物では、熟度を確認し、収穫可能なものは早急に収穫、出荷する。
- (5) 棚栽培の果樹では、風圧による棚の上下動によって果実落果が起きるので、支柱・アンカー等で棚面を固定する。

### (詳細)

#### 1 水 稲

現在、早生は登熟中期、コシヒカリは登熟初期となっている。また、晩植や直播のコシヒカリは出穂期となっている。

- ① 出穂期から登熟初中期の水稻は、強風やフェーンの影響を受けやすい時期となるので、台風が接近する前にほ場へ入水し、白穂の発生や稲体の消耗を防止する。

特に、出穂直後～出穂10日後までは、最も影響を受けやすいので注意する。

#### 【事後対策】

- ① 台風通過後は、湛水状態を避け、土壌の飽水状態を保つため、引き続き間断通水を継続する。
- ② 強風により倒伏した早生のほ場では、今後穂発芽が懸念されるので、湛水状態にならないよう排水対策を実施しておく。

## 2 大豆

現在、開花終期～幼莢期となっている。

- ① 強風やフェーンが予想される場合は、作物体の消耗を軽減し、落花や落莢を防止するため、うね間かん水を実施する。
- ② 降雨が予想される場合は、排水溝を点検・整備し、連結させておく。

### 【事後対策】

- ① 降雨では場が長時間冠水した場合、根腐れを起こすので台風通過後は速やかな排水に努める。
- ② 降雨を伴った強風の場合は、莢腐敗の発生が懸念されるので、紫斑病防除と併せ防除を実施する。

## 3 野菜・花き

### (1) 施設野菜・花き（トマト、メロン、軟弱野菜、ストック等）

- ① ハウスの破損箇所を速やかに補修するとともに、ハウスバンドを締め直してビニールのバタつきを防ぐなど施設の点検・整備を実施する。
- ② 栽培期間中のハウスでは、夜間はハウス内に風が吹き込まないようにサイドビニールを密閉する。昼間は、温度上昇を抑えるため、風上側のサイドビニールを密閉し、風下側は空かしておく。なお、風向と気温の変化には十分注意する。
- ③ 南風が強く吹いた場合、南北棟のハウスは南妻面に強い風圧力がかかるので、南北の妻側に筋かいを設ける。
- ④ 魚網や防風ネットを妻面またはハウス全体に被覆する。
- ⑤ 暴風時には、ハウスを密閉し、換気扇を稼働させて、ハウスの内圧をマイナスにして、ビニールの剥離を防止する。
- ⑥ フェーン現象でハウス内が高温になると、葉や生長点が焼ける恐れがあるので、十分かん水するとともに、頭上かん水施設がある場合は、噴霧散水し植物体やハウス内の温度を下げる。

### (2) 露地立体栽培（なす、まるいも、じねんじょ、きく等）

- ① 杭や筋かい等で棚全体を補強し、倒伏を防止する。
- ② けいとうやきくなどお盆用の切り花で保存性が高いものは早急に収穫する。なお、保存中は水を頻繁に交換し、腐らせないように注意する。また、葉を水に漬けると腐りやすいので、事前に下葉を取る。
- ③ なすは小さめの果実まで早めに収穫し、傷果の発生を防止する。
- ④ 事前にほ場の排水路を点検・連結し、排水対策を徹底する。

### (3) 露地地這栽培（キャベツ、ブロッコリー、にんじん、ねぎ、かんしょ、れんこん）

- ① 収穫可能なものは早急に収穫する。
- ② 強風や飛砂による葉の損傷を防ぐため、定植直後のブロッコリー等の葉菜類や発芽直後のにんじんでは、畦全体に寒冷紗や不織布をべた掛けし止め具で強く固定する。また、ねぎは支柱を立て、ひもで固定する。
- ③ 事前にほ場の排水路を点検・連結するなど排水対策を徹底する。
- ④ 砂丘畑の作物では、強風が吹く前からスプリンクラー散水を行い、飛砂による作物の損傷を防止する。

#### 【事後対策】

- ① 強風でねぎや花きの株が倒れた場合は、茎の曲がりを防止するため、台風通過後2～3時間以内に元に戻す。
- ② 豪雨では場が冠水した場合、冠水時間が3時間を超えると、蒸れや根腐れによる被害が発生しやすくなるため、直ちに排水に努める。
- ③ 風でもまれた茎葉は、被害が発生しやすいので殺菌剤を散布する。

### 4 果 樹

- ① 収穫期に入っているもも、ぶどう、なし、りんごでは、熟度を確認し、収穫可能なものは早急に収穫、出荷する。
- ② 棚栽培の果樹では、風圧による棚の上下動によって果実落果が起きるので、支柱・アンカー等で棚面を固定する。
- ③ 収穫が終了したぶどう園では、速やかにビニールをはずす。収穫中の園ではハウズバンドを締め直してビニールのバタつきを防ぐ。また、防鳥網、防風ネットは風で飛ばされないようしっかり固定する。
- ④ 高接ぎなどの接ぎ木部は風に弱いので支柱を添えて固定する。また、以前に裂けた枝、裂ける危険のある個所についても補強を行う。
- ⑤ なし、キウイフルーツ、いちじく等の新梢は折れやすいので、被害を軽減するため、新梢を棚面や支柱、番線等に固定する。
- ⑥ わい化栽培のりんごでは、支柱の上部をワイヤー等で連結して揺れ止めを行う。
- ⑦ 梅雨明け以降極端な乾燥状態が続いているため、ほ場が冠水した場合、裂果や葉焼け等の生理障害が発生する恐れがある。このため、台風が大雨を伴う場合には、園内の排水対策を徹底する。
- ⑧ 海岸近くの果樹園では潮風害も懸念されるため、風上側に簡易な防風ネットやよしず等を設置する。
- ⑨ 強風による事後対策のための資材等を予め準備しておく(薬剤、補修資材等)。

#### 【事後対策】

- ① 倒伏樹は速やかに起こし、支柱で固定する。太根の切断が著しい場合は、その程度に応じて地上部を切りつめる。
- ② 枝が裂けた場合は、傷害部を削り取った上で塗布剤を処理する。
- ③ 落果した果実は、用途に応じて早めに処分する。用途がない場合は、病害虫の発生源とならないよう埋設処理する。
- ④ 強風で葉や新梢が傷ついた場合、使用基準に基づき保護と防除を兼ねて速やかに殺菌剤を散布する。

### 5 畜産

- ① フェーン現象による熱射病等の家畜疾病を防ぐため、密飼いを避け、送風機、細霧システム等の暑熱対策を徹底し、家畜の体感温度の低下に努める。
- ② 畜舎内に風が吹き込まないように、窓、戸等の破損箇所は速やかに補修する。
- ③ 暴風時は畜舎を密閉し、換気扇を稼働させて換気を行う。
- ④ 畜舎への雨水の進入を防ぎ、配合飼料・乾草等は、濡れて変敗しないよう、安全な場所に移動する。
- ⑤ 停電によって搾乳ラインやバルククーラーが止まることが予想されるので、緊急時の発電機の確保を検討しておく。

### 【事後対策】

- ① 畜舎の再点検を行い被害箇所を修理を行う。
- ② 畜舎への浸水があった場合は、排水に努め、水が引いた後、速やかに畜舎、家畜、設備器具の水洗、乾燥、消毒を実施する。特に、搾乳機器は故障箇所の点検を行い、消毒等の衛生対策を徹底する。

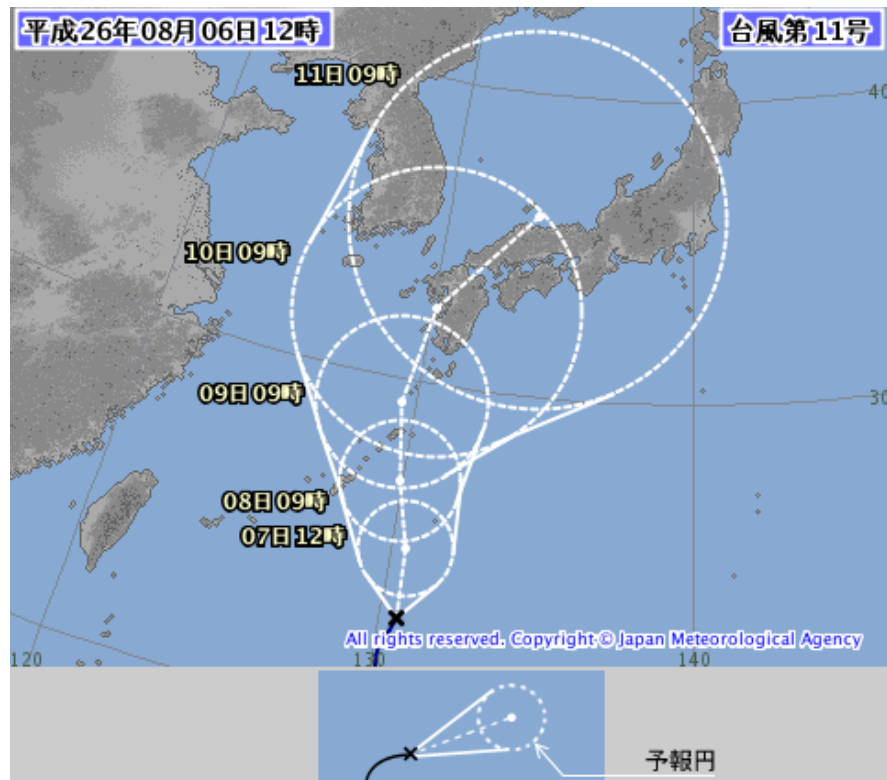
## 6 飼料作物

- ① ロールベールサイレージのラップやバンカーサイロ等の被覆ビニールは、網をかけるなど強風による破損を防止する。

### 【事後対策】

- ① 刈取り適期の牧草やスーダングラスは、天候をみて早急に刈取りする（倒伏したものは速やかに収穫し、品質の低下を防ぐ）。
- ② 飼料用とうもろこしは、倒伏の傾きが45度以下なら生育に支障がないので、収穫せず登熟を進める。地際まで倒伏した場合は、熟度が進んだものほど回復が小さいので、折損により回復が見込めないものを優先し、熟度に応じ収穫時期を決定する。
- ③ ロールベールサイレージのラップやバンカーサイロ等の被覆ビニールに破損箇所があれば、再度ラッピングするなり、テープを貼るなどサイロの気密性の確保に努める。

## II 気象の概況



<06日15時の実況>

大きさ	-
強さ	強い
存在地域	南大東島の南約300km
中心位置	北緯23度05分(23.1度)
	東経130度40分(130.7度)
進行方向、速さ	北北東 15km/h(8kt)
中心気圧	955hPa
中心付近の最大風速	40m/s(80kt)
最大瞬間風速	60m/s(115kt)
25m/s以上の暴風域	南東側 190km(100NM)
	北西側 150km(80NM)
15m/s以上の強風域	南東側 500km(270NM)
	北西側 330km(180NM)



本県では、台風が日本海を北上した場合、南よりの強風が吹き込んでフェーン現象になることが多く、太平洋から日本列島を横断して北上する場合は大雨になることが多い。